

## 小松基地騒音測定を実施



基地の歴史や爆音訴訟について説明する柴原事務局長

小松基地爆音訴訟の戦闘機騒音調査が実施されました。ピースセンター小松が実施したもので、石川県平和委員会は小松飛行場から約3.5キロの小松市民センターテニスコート横の地点を担当しました。

### 4日間 のべ32人が参加

調査期間は、10月16日～20日（20日は天候悪化が予測され中止に）の4日間、毎日7時30分から17時頃まで実施しました。期間中、平和委員会の会員や寺井病院の職員など延べ32名が参加しました。

今回は、風向きの関係で着陸が中心でしたが、90dBを超える音を測定することもありました。特に、着陸するF15戦闘機の上空を2機が編隊で通過し3機の音が重なりあう場面や、滑走路上に離陸を待つ戦闘機がいるにもかかわらず着陸機が進入しようとして着陸復行（ゴーアラウンド）になりエンジン出力を上げ

たため98dBを記録する場面がありました。

騒音調査活動の担い手を育てる取り組みの一環として位置づけて行ったもので、初めて参加した人には、小松基地の歴史や騒音問題、事故、基地強化、爆音訴訟の意義など、資料を使って説明しました。

### お腹に響く爆音を体験

同じ石川県内に居ても、離陸時の空気を切り裂くようなバリバリという音やお腹にズシンと響く音は、直接体験しないとわかりません。「こんなに凄い音だと思わなかった」などの感想を語る人もいます。

定例の騒音調査活動は春と秋の年2回ですが、県平和委員会では騒音体験を兼ねた取り組みを継続的に実施し、準備中の「第7次爆音訴訟」において弁護士や医師と連携して住民の健康被害を立証するデーターにしたいと考えています。

### 安心して暮らせる石川へ

会員のみなさん 短時間でも構いませんので、次回はぜひ参加してください。岸田政権の大軍拡路線によって変貌する航空自衛隊小松基地の実態を周りに知らせましょう。我が街を戦場にしないために。

（柴原和美事務局長）

## ニュース フラッシュ

- 8月22日 核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名行動
- 29日 陸上自衛隊35km徒歩行進訓練の中止を求め、金沢駐屯地と金沢市に申し入れ。石川憲法会議総会
- 30日 怒りの昼デモ
- 9月6日 県原水協の6・9行動
- 7日 河北潟放水路防潮水門で、陸自の徒歩訓練に対し地元民や内灘町議・金沢市議などが抗議行動
- 9日・10日 日本平和委員会第1回理事会に山野代表理事が出席
- 10日 いしかわ市民連合が「県内政党に意見を聞く会」
- 11日～13日 日豪共同訓練騒音調査。昼デモ
- 15日 沖縄連帯宣伝行動
- 16日 戦争をさせない石川の会が「ヤマトンチュとして沖縄に向き合う」講演会
- 18日 野田駐屯地付近の人たちと「土地利用規制法を考える学習会」
- 19日 市民アクション・いしかわ宣伝行動
- 22日 核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名行動
- 27日 昼デモで山野代表理事が決意表明



＝写真は大滝和康さん提供

- 30日・10月1日 日本平和委員会北信越ブロック交流会（長野）に山野・藤田事務局次長が参加
- 30日 大軍拡・大増税を許さない秋の学習会
- 10月1日 核禁条約署名連絡会主催の映画「声をあげる高校生たち」の上映と斉藤とも子さんのトーク
- 3日 改憲NO！宣伝署名行動
- 4日 なんぶアクション合同スタンディング
- 6日 6・9署名行動
- 10日 大軍拡・大増税ノー！全県キャラバンがスタート（20日まで）
- 11日 昼デモ
- 13日 沖縄連帯宣伝署名行動
- 14日 輪島平和委員会が学習会
- 16日～19日 小松基地騒音調査
- 19日 市民アクション・いしかわ宣伝行動

いしからん戦争の歴史を学ぶ

石川県平和委員会が2007年に発行した「平和ガイドMAP No.2」を片手に、日本平和委員会の千坂純事務局長が、金沢公園内や第六園周辺の戦跡を訪ねました。その感想を寄せてもらいました。

輪島市での講演の翌日、あの戦跡マップにもとづき、半日かけて巡ってきましたよ！

見ずらいものもありましたが、何とか全部確認することができました。なかなかすごい印象ですね。これだけ狂気の歴史が清算されず、堂々と侵略の歴史を誇る記念碑などが建てられ、批判の対象になっていないという現実から見たら異様です。

それがいままた新たな狂気の軍拡をすすめる土壌になっていると思いました。それだ

けに、この戦跡マップを活用したツアーを大軍拡問題を考えることとも結び、侵略の背景や歴史を伝える活動を行うことは、非常に重要と思いました。

石川県平和委員会がその活動を積み重ねていることは重要ですね。何か、企画出来たら面白いですね。マスコミにもアピールするような。…いい体験であり、また、金沢という街の魅力を感じた時間でありました。

